

「くまさんの力」の品質比較と安定生産のための生育指標

「くまさんの力」は、「ヒノヒカリ」より白未熟粒の発生が少ない。また、 m^2 当たり籾数は、35,000粒程度で高品質で安定収量が得られ、その籾数を確保するための生育の指標値（穂肥前の葉緑素計値×茎数の積）は、900程度である。

農業研究センター 農産園芸研究所作物研究室 (担当者 坂梨二郎)

研究のねらい

熊本県では、高温登熟性に優れた水稻品種「くまさんの力」を育成し、平坦地域の中生品種として有望視されている。

そこで、「くまさんの力」について、外観品質を評価するとともに、安定生産のための生育の指標を明らかにする。

研究の成果

1. 「くまさんの力」は、既存中生品種より白未熟粒の発生が少ない (図 1)。
2. 「ヒノヒカリ」は、 m^2 当たり籾数が増えると白未熟粒の発生が多くなるが、「くまさんの力」は、35,000粒程度でも白未熟粒発生が少なく、品質低下がみられない (図 2)。
3. 収量安定のためには、 m^2 当たり籾数は35,000粒程度確保する必要がある (図 3)。
4. m^2 当たり籾数35,000粒程度を確保するための生育の指標値（穂肥前の葉緑素計値×茎数の積）は、900程度である (図 4)。

普及上の留意点

1. 「くまさんの力」の栽培技術指導資料として活用できる。
2. 本試験は黒ボク土壌において、6月14日移植 栽植密度18.5株/ m^2 で行った。
3. 籾数と収量及び籾数確保のための生育指標は、分けつ期間は寡照、登熟期間は多照であった2007年の結果である。

【具体的データ】

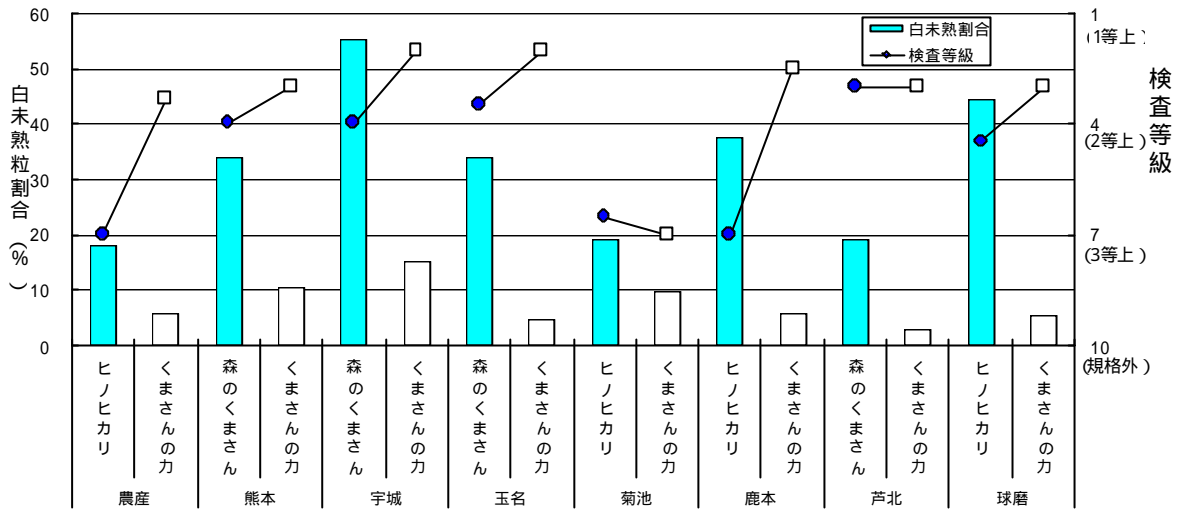


図1 白未熟発生率および検査等級(2007)

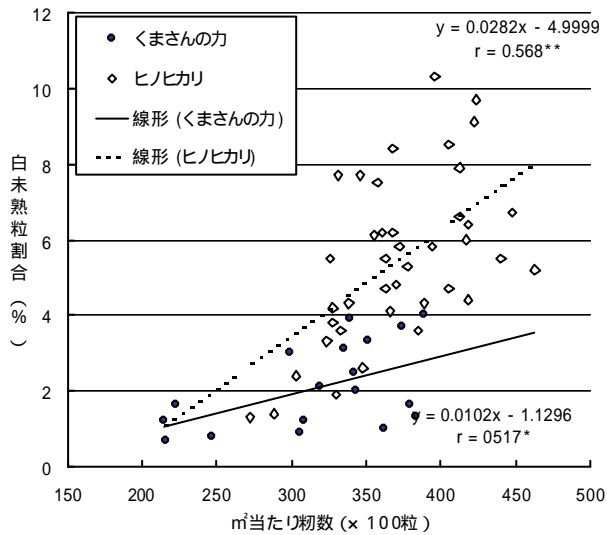


図2 m²当たり籾数と白未熟粒割合との関係 (2007)

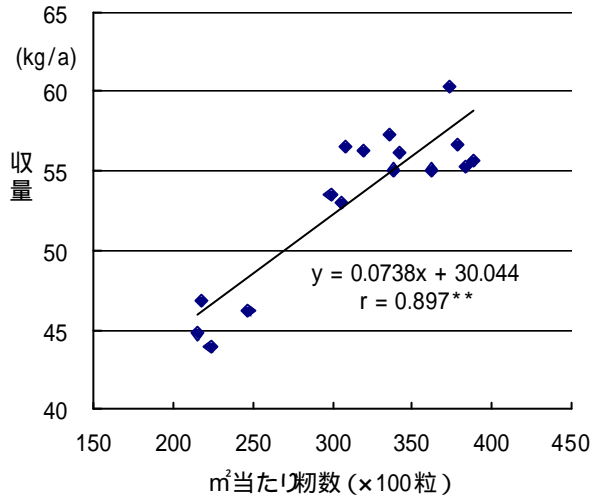


図3 「くまさんの力」のm²当たり籾数と収量との関係 (2007)

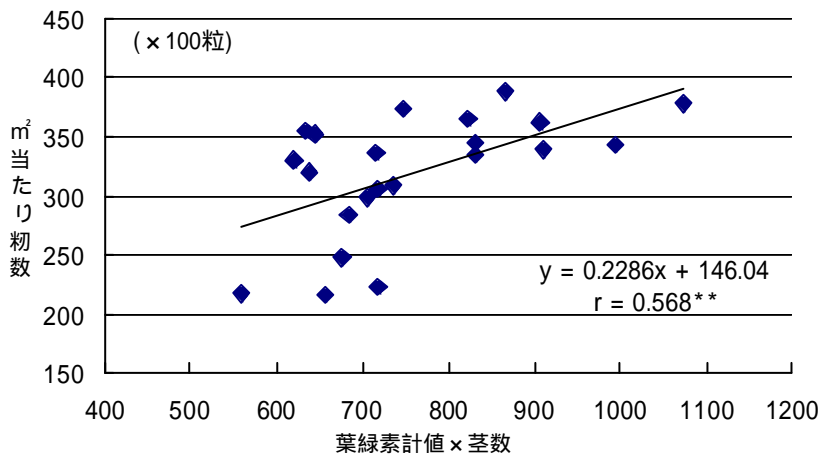


図4 「くまさんの力」の穂肥前(出穂20日)の生育指標とm²当たり籾数(2007)